

アンケートの概要

■ 対象

都内の区市町村及び公立・私立保育所

■ 実施方法

（自治体アンケート）

全ての区市町村に、調査票を配布

（施設アンケート）

区市町村にて対象施設を抽出し、調査票を配布

■ 実施期間

令和2年6月23日から同年7月10日まで

■ 回答施設数

（自治体アンケート）

62区市町村

（施設アンケート）

288施設（公立 81施設 私立 207施設）

（区部 106施設 市町村部 182施設）

■ 主な質問項目

（自治体アンケート）

✓ 緊急事態宣言中及び宣言解除後に保育所から受けた相談内容

✓ ベビーシッター利用支援事業の活用状況

（施設アンケート）

✓ 職員配置、在宅勤務、オンラインによる取組に関すること

✓ 保護者からの相談に関すること

✓ 感染予防（登降園、消毒、手洗い、マスク）に関すること

✓ 園外活動・プール遊びに関すること など

結果の概要（自治体アンケート）

保育所からの相談内容等

括弧内は、回答数

■ 緊急事態宣言中の保育所からの相談（衛生用品以外）（複数回答）

（主な複数意見）

- 保育園の利用可否（16）
- 陽性者が発生した場合の対応（12）
- 職員の勤務体制、勤務形態、賃金の取り扱い（12）
- 健康診断に関すること（11）
- 園児、保護者や職員等の体調不良時の対応（10） など

■ 緊急事態宣言解除後の保育所からの相談（複数回答）

（主な複数意見）

- 行事の開催方法（26）
- 水遊び・プールの実施方法（22）
- 感染防止のための環境整備・保育方法（13）
- 園児・職員のマスク着用（13）
- 散歩、園外活動（10）
- 保護者対応（送迎・相談）（9）
- 陽性者が発生した場合の対応（8）
- 消毒等の実施方法、ガイドライン（6） など

⇒ 宣言中は、保護者対応や職員体制に関する相談が多い
⇒ 宣言解除後は、行事や水遊びなど感染予防に配慮しながら
保育を実施する方法に関する相談が多い

■ ベビーシッター利用支援事業の活用状況

保育所等の臨時休園・登園自粛に伴う利用に対して活用	22自治体
---------------------------	-------

（活用している理由）

- 仕事を休むことが困難な保護者支援を行うため（18）

（活用されていない理由・課題）

- 臨時休園中でも、保育が必要な家庭は預かるなど対応できたため（13）
- アカウント発行までの手続の簡素化、迅速化（11）

新型コロナウイルス感染症に関する保育所アンケート（結果の概要）

結果の概要（施設アンケート①）

勤務状況

括弧内は、回答数

■ 保育士の在宅勤務

実施していた	250施設
実施していなかった	38施設

（主な内容）

- 保育用具・玩具等の制作（224）
- 保育計画の策定等、保育内容に係る書類作成（211）
- テキストやeラーニング等による学習（135）
- 保護者・児童あて連絡等（127） など

■ 登園自粛中の児童・保護者への取組

取り組んだ	277施設
取り組まなかった	10施設

（主な内容）

- 電話による状況の確認・相談支援（244）
- 郵送やSNS等によるメッセージの送付（183）
- メールによる連絡・相談支援（149）
- 園ホームページ等における情報提供（110）
- オンラインによる保育活動（73） など

■ 自宅で過ごす家庭に対するオンラインを活用した取組

実施する(実施予定)	59施設
実施しない	219施設

- ⇒ 8割以上の施設が在宅勤務を実施
- ⇒ 自粛中も9割以上の施設が児童・保護者へ取組

保護者

括弧内は、回答数

■ 保護者からの相談内容（相談を受けた施設のみ回答）【複数回答】

- 在宅での子育てに関する不安やストレス（148）
- 在宅での育児と仕事の両立（134）
- 園での新型コロナウイルス予防対策（92） など

⇒ 約8割（224施設）が保護者から相談を受け、子育てに関することが約7割を占める

■ 児童の受入方法の工夫【複数回答】

- 午前中、午後だけの預かりなどの柔軟な受け入れ（106）
- 分散登園の実施（25）
- 開所時間の短縮（19） など

■ 登・降園時の対応について、見直した内容【複数回答】

- 児童の受け渡し方法（保護者を保育室に入れたい等）（213）
- 送迎時間を保護者ごとに時間帯でグループ分け（4） など

⇒ 児童の受入方法を見直した施設が7割超
⇒ 約4割の施設が児童の預かりについて柔軟に対応
⇒ 分散登園を実施している施設は少ない

新型コロナウイルス感染症に関する保育所アンケート（結果の概要）

結果の概要（施設アンケート②）

感染予防

括弧内は、回答数

■遊具やおもちゃ等物品の消毒や清掃の頻度【複数選択可】

児童が共用する物品等の消毒回数を増やしている	266施設
多くの児童が触れる場所を確認し、こまめに消毒	268施設
以前と消毒や清掃の頻度は変わらない	15施設

■園児の手洗いについて【複数回答可】

手洗い方法について、説明、図など張り出し	260施設
児童の手を拭く際に、ペーパータオルを使用	216施設
以前より手洗いの回数を増やした	204施設
手洗いのタイミングを変更した	95施設
以前と変わらない	28施設

■戸外活動・園外活動について、見直した内容【複数回答可】

- 戸外での時間を増やしている（散歩、公園の活用）（120）
- 異年齢児の活動を中止（102）
- 園庭での泥んこ遊び、水遊び等を増やしている（80） など

■室内での活動について、見直した内容【複数回答可】

- 異年齢児の活動を中止（124）
- 遊戯室・ホール等をいままでよりも活用（124）
- 室内で過ごす時間・人数を調整（110） など

■プール水遊びの実施について

実施する	165施設
実施しない	103施設
検討中	17施設

■給食時の対応について、見直した内容【複数回答可】

テーブルやイスの配置・座り方を工夫	236施設
配膳の方法を見直し（児童による配膳の中止など）	220施設
晴れている日など園庭で食事をする機会を作る	53施設

■保育所内での職員や児童の健康状態の把握状況【複数回答可】

全ての児童、職員の検温結果や健康状態等の把握と記録の実施	244施設
全ての児童の検温結果と健康状態等の把握と記録の実施（職員未実施）	73施設
園内での感染症の流行状況など把握し、保健所や嘱託医等に相談できる体制を構築	226施設

⇒ 感染予防に向けて、消毒対応や手洗い、保育方法等の見直しを行うとともに、健康状態の把握に努めている施設が多い

アンケート結果を踏まえ、東京都待機児童対策協議会において、区市町村と意見交換し、保育所における新型コロナウイルス感染症対策の検討に活用